

1. 評価結果概要表

評価確定日 平成21年 1月 28日

【評価実施概要】

事業所番号	2274202494
法人名	特定非営利活動法人 シンセア
事業所名	グループホーム たみの里-清水
所在地 (電話番号)	静岡市清水区吉川129-4 (054-347-6541)

評価機関名	セリオコーポレーション有限公司
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成20年12月16日

【情報提供票より】(平成20年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 7人, 非常勤 511人, 常勤換算	13.7人

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	軽量鉄筋造り 2階建ての1階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	57,000 円	その他の経費(月額)	26,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000 円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	300 円	昼食 600 円
	夕食	600 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(平成20年12月1日現在)

利用者人数	15 名	男性 2 名	女性 13 名
要介護1	0 名	要介護2	5 名
要介護3	4 名	要介護4	4 名
要介護5	2 名	要支援2	名
年齢	平均 81 歳	最低 66 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	静岡市立清水病院、松浦整形外科、宮澤皮膚科医院、杉山歯科医院
---------	--------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅街の中にあつて、茶畑を正面に裏側には霊峰富士山を大家の借庭越しに仰ぐことのできる環境のよい場所に建てられているホームである。清潔感のある建物は冬の太陽が燦々とふりそそぎ、そこには余生を楽しむかのように利用者が日向ぼっこをしている姿が垣間見られた。企業母体の理念「生き生き、生きる」を運営理念とし、いつまでも有意義な時間を過ごせる環境を提供している姿勢が感じられた1コマでもあった。諸般の事情から職員の大幅な入れ替えとホーム長の交替があったが、残りの職員の献身的な頑張りにより、利用者、家族等の危惧も解消されつつあり、また、ベテランのホーム長を迎えたことにより、以前に増したケアサービスが可能になったことは何よりである。職員一同も「自分が将来こんなところで暮らしたいと思えるグループホーム」を目指したいと張り切って日々のケアに取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	評価で見出された課題について実行出来ることは改善の跡がみえるものの、職員教育等の問題では、まだ改善の余地が残されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は計画担当者と一部の職員によって行われているが、職員全員による取り組みが望まれる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、諸般の事情から今年2月に開催された以降開催されていないが、会議の重要性は十分認識されているので早急な再開が望まれる。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	苦情等に関する手順書が細かく定められ、家族等の面会時には意見・要望を聞き出し、即対応できるよう連絡帳等で職員に周知・徹底を図るなど運営に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入して、地域の一員として清掃活動や行事に参加したり、また、ホーム内の庭を近隣住民の臨時駐車場として融通するなど、人的・施設面においても地域との良好な関係が構築されている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は企業グループ内のものをそのままホームの理念として掲げているが、ホームの特性を活かした具体的なイメージを持った理念となっていない。	○	企業グループ内での統一された理念も重要であるが、地域密着型サービスを考えた時、地域や利用者のニーズ、ホームの状況の変化によって、そのホームの現状にあった独自の理念をつくりあげることが望まれる。
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者がいつまでも有意義な時間を過ごせる環境が提供できるように、毎月の会議において理念の実行にあたっての話し合いが行われており、日々の申し送り等によって理念の共有化の取り組みが見られる。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入して、地域の一員として清掃活動や行事に参加したり、また、ホーム内の庭を近隣住民の臨時駐車場として融通するなど、人的・施設面においても地域との良好な関係が構築されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価で見出された課題について実行出来ることは改善の跡が見えるものの、まだ十分とは言えない。また、自己評価の取り組みにあっても、計画担当者と一部の職員によって行われている。	○	ホーム長、職員の大幅な入れ替えがあったことを踏まえて、評価の意義の理解と活用方法等について、職員全員により検討を行うなどの研鑽が望まれる。
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、諸般の事情から今年2月に開催された以降開催されていない。	○	運営推進会議の重要性については十分認識されているので、早期に再開されることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当窓口への書類等の提出にあたっては、郵送やファックスをやめて出向くなど、市職員との接触の機会を出来るだけ多くするよう努め、また、ホームの実情やケアサービスの取り組みについても伝えるようにしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等に対し、毎月定期的に請求書を郵送するにあたって、担当職員の一筆箋を入れ近況報告を行っている他、年4回本部が作成の「たみの里たより」を送付している。また、利用者に変化があった場合は即刻電話で報告するなど家族との接点を密にするよう努めている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情等に関する手順書が細かく定められ、家族等の面会時には意見・要望を聞き出し、即対応できるよう連絡帳等で職員に周知・徹底を図るなど、運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	今年7月に職員が5名退職し、また、今月(12月)にはホーム長が交替するなどがあり、利用者への影響が憂慮される。	○	現在ベテラン職員の支えにより業務運営はされているが、家族アンケートでも人の入れ替わりが多いことを危惧する意見が寄せられており、職員の定着率を高める為の具体的な努力や工夫が求められる。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の入れ替えが多数に及んだことから、ホーム長が個別面談をこまめに行っているが、まだ内部研修は軌道に乗るまでには至っていない。	○	家族等アンケートの中には、「幸い残っている職員が今まで以上に気配りが行き届いている。」との声もあり、職員育成策として、段階に応じたホーム内の職員研修の実施が望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	企業グループ内における管理者の交流のほか、近隣同業者とは情報交換を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者の趣味・嗜好や生活歴等の情報を基に、ホーム内の環境に慣れるよう細心の注意を払いながら家族とも相談し、安心して入居できる態勢を整えている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は謙虚に利用者として接しており、年長者として敬い、生活上の知恵や悩みごと、相談ごと等多方面にわたって教え、教わりして喜怒哀楽を共に過ごす関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声を掛け、把握に努めている。言葉や表情などからその真意を推し測ったり、それとなく確認するようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	普段の暮らしの中で気づいたことや毎月のカンファレンスでの意見交換内容を記録し、生活日誌も活用して介護計画を作成している。家族の訪問時や電話などで聞いた家族の意向も反映させ、了解の上で介護計画を実践している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月一度のカンファレンスで介護計画の評価を行っている。通常の介護計画は3ヶ月ごとに見直ししているが、状況の変化に応じて随時見直しも行い、常に現状に即した介護内容となっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の要望に応じて、通院、買い物等の送迎やドライブも行なっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が馴染みの医者による診療を希望する場合は、同行している。協力医による診察は月一度行い、看護師には週2回訪問して頂き、適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化しつつある利用者への対応は、家族やかかりつけ医等と連絡相談しながら全職員で支援しているが、終末期に対しては対応する方針の共有までに至っていない。	○	重度化した場合や終末期のあり方について、ホームとしての基本指針の確立や入居契約時から本人、家族の希望を確認し同意書を頂くなど、全職員で終末期対応を共有する仕組み作りが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の尊厳に配慮し、優しい言葉掛けと温かい接し方を心掛けている。個人情報に関する守秘義務を職員に徹底させ、個人情報等の書類は事務室で施錠できる所に保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れは決められているが、「生き生き 生きる」を運営理念として出来る限り利用者の希望する暮らし方を優先してゆったりと過ごせるよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の嗜好を念頭に献立を作り、職員の管理栄養士により献立の確認をして快適な食事が採れるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2～3日に一回は入浴している。個々の気持ち・体調を勘案しながら、声掛けをし出来るだけ入浴するよう勧め、清潔を保てるように努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の暮らしが張り合いのあるものになるよう、利用者の生活歴や趣味を理解し、それぞれが活躍できる場を提供している。調査当日はCDで伴奏を流し、皆で楽しそうに歌っている姿が見られたり、壁には掛川花鳥園へのドライブ風景の写真が見受けられた。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	南面のテラスでの外気浴、その先に茶畑、北に季節で変化する樹木群、東に富士山を眺めながらの散歩コースが日々の人気コースとなっており、引き籠もらず戸外へ出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関入り口は施錠せず、開閉自在であった。玄関横の事務所には玄関側に出入りが確認できるガラス窓があり、反対側には居間の全貌が見渡せる大窓があり、人の出入り、所在が確認できるよう造られていた。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災に熱心な地区であり、地区の防災訓練には参加し、防災器具の取り扱いから防災全般に涉り、地域の方からの指導を受けているが、ホームとしての独自の防災訓練は過去1回行われたのみである。	○	町内会、隣近所との協力関係は重要であるが、ホーム独自の災害対策もまた重要であることを認識の上、消防署などの協力を得て定期的に防災訓練の実施が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量、水分摂取量は日々、刻々にその量が記録されている。栄養バランス・カロリーについては管理栄養士により確認されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	南向きで陽の差し込む居間・居室は明るく、居間の畳部屋には花木が飾られ、窓の外には茶畑・樹木・富士山など四季の移り変わりを満喫でき、居心地よく過ごせる雰囲気に満ちている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には備え付けの戸棚とベッドが置かれた他は、利用者の馴染みの家具・備品で囲まれ、壁には家族の写真や自作品で飾られ、本人が居心地よく過ごせる工夫がされている。		